

新潟県

平成元年

公民館月報

12月
第442号

シリーズ 生涯学習の推進と公民館(7)

実践
記録

学習サークルの育成・学習啓発



笹岡了一
「ウィリアム物語」

1987年作

161.5×130.0cm

油彩キャンバス

新潟県美術博物館所蔵

笹岡了一(1907~1987)は、新潟市生まれ。ギリシャ神話やキリスト教世界を題材に、豪放な中に繊細な詩情を表す独自の具象絵画の境地を切り拓いた。

大胆な筆致と明快な色彩、まるで中世の壁画を思わせるこの作品は、旧約聖書に題材をとつたもので、第10回日展において内閣総理大臣賞を受賞した。



開会式 吉里会長のあいさつ

第12回全国公民館研究集会

新機軸の研究方法で

公民館の役割を追究

大宮市ソニックスティを主会場に

去る十一月九・十日の二日間、埼玉県大宮市のソニックスティを主会場に、第十二回全国公民館研究集会が開催された。二千人の参加者により、十八部会に分かれての研究討議。全体会においては「公民館職員の必置制」の要求に関する強い要望の提出など、例年にならぬ、活気旺盛の大会であった。

この大会は、関ブロ方式にならない「基調提案」による問題提起と、それによる大会運営の方向づけ。十八分科会に細分して、サミット方式やシンポジウムを採用する部会など多彩な方式での討議。記念講演に変えてシンポジウムの採用、研究資料の事前送付など、新機軸な研修方法に、主管の埼玉県公連の意欲と心配りが実によく現れた大会であった。

新会長吉里邦夫氏は、開会のあいさつで、「二十一世紀が見えてきた今日、これ

からの十年間を新しい時代に繋ぐ基礎固めの時とし、地道な日常活動によって新たな活路を切り開こう。また、各ブロック公連・各都道府県公連と協力し、行動する全公連となるよう努力する」と強調した。

基調提案では、埼玉県公連専門委員の楠谷忠洋氏により、こ



使命の重さを痛感

遠藤 謙二

出席した分科会は、特別部会「生涯学習の推進と公民館の役割を考える」分科会に参加。全体討議に先立ち秋田県協和町公民館から、社会教育推進員と生涯学習奨励員(五十七名)を核にしたまちぐるみの生涯学習モデル事業の実践発表が続いて、昭和五十六年「生涯都市宣言」をした山梨県韮崎市から公民館を母体にした、心の三・三方式を理念に据え、実践十七項目を

掲げた生涯学習推進活動について、基調発表があった。どちらも生涯学習推進モデル都市だけにまちぐるみの実践活動は、実に優れたもので参加者にさまざまな反響を与え、質疑や意見が集中。なかには、生涯学習は押しつけが必要に感じている。一人ひとりが必要に応じて学習の選択のできる環境づくりこそ、公民館の役割ではないかというシビ



家庭教育部会

れまでの十一回の全国公研集会は、「各ブロック公連の成果が反

映されない。」「年次ごとの積み上げが弱い。などその取り組に継続性がなく、毎年同じ次元での討議が進められていることへの厳しい問題提起があった。

なお、この研究集会の家庭教育分科会では、新潟西地区公民館樋口栄子社教主事、福島県中嶋村秋山功一社教主事が実践発表を、また、新潟市坂井輪地区公民館小林敬子社教主事の優れた可会技術(バズ討議法の併用)により部会討議の質的深まりをみせるなど、極めて高い成果を得、助言者の埼玉大学林信二郎教授の絶大な賛辞を得ていた。

フな意見。あるいは、生涯学習を推進するにあたって、首長が上に立つことは、その支配下におかれ、教育の中立性に問題があるのではないかと等々、活発な意見が交わされたところである。こうした論議に、公民館草創期時代僅か十年の経験しかない私には、多少戸惑うところもあったが同時に、現代の生涯学習社会の中で、公民館の果たすべき役割とその使命の重さをあらためて感じ生涯学習推進の一端を学ぶことができた公研集会であった。

(本会副会長 新発田市公民館長)

県生涯教育センター設置促進委員会

生涯教育センターの設置を

金子県知事へ陳情

去る十一月一日(水)、県生涯教育センター設置促進委員会(会長伊豆野壹郎 県公民館振興市町村長連盟会長)では、七名の役員により、金子県知事に生涯教育センターの早期設置について陳情した。

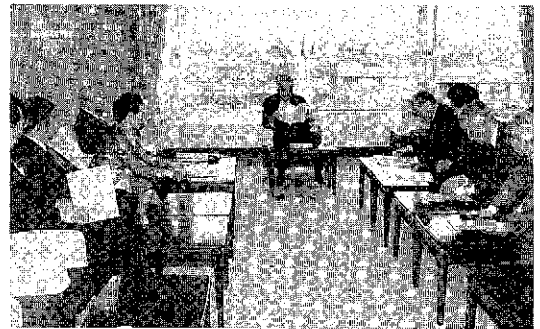
この日、午後二時から十分の予定で金子知事に面接、陳情書

を手渡すとともに、生涯教育センターの不可欠なことについて陳情した。

金子知事からは、「県生涯学習推進会議」で検討したい旨の回答があった。

知事自から会長の「県生涯学習推進会議」の今後の対応に大きな期待を寄せたい。

習推進会議」の今後の対応に大きな期待を寄せたい。



辛口

国際化時代といわれ、から久しくなりました。が、毎日国際化に関するニュースの無い日はないというより、既に国際化という用語が不要なほど国際化が進んでいるものと思いませんか。

国際化に学ぶ

川西町町長 南雲 春雄

と、甚だ疑問かと思われま。

これまで、国際化など無縁のように思われていた我が町にも海外からの花嫁さんを迎え、又海外研修などの機会

を得るにつけ、益々国際化問題は、様々な形で相互に影響を与え、時には利害関係も生じていながら、お互が相手国をどれだけ理解しているかとなる

を解するにつけ、益々国際化問題は、様々な形で相互に影響を与え、時には利害関係も生じていながら、お互が相手国をどれだけ理解しているかとなる

催を予定しています。公民館事業では、青年、婦人、高齢者などそれぞれの学級や講座が活発に行われていますが、海外研修の参加者は、学生、会社員、白営業者など、実に多様な顔ぶれです。これは正に世代間交流の又となないチャンスです。

修には十代から五十代までの多くの人達から世界各国へ出かけてもらっています。年度末には、提出されたレポートの取りまとめと同時に体験発表会の開

(県公振連 理事)

公民館の学習は 学習ゴッコか

第二の課題は、「公民館での学習活動は、学習ゴッコではないか。」ということである。

三条市で開かれた第三十二回県公民館大会のパネル討議で、斉藤先生は「公民館の学習活動からは、問題意識を持った住民が育たない。」と指摘しておられるが、従来の公民館における学習活動は、キレイごとやタテマエと抽象論が多く、住民のきびしい生活や地域に根ざした役立つ学習活動でなかったのではないかと、ということである。

続公民館日記(7)

算が少なくて……」とこぼしながら、住民の切実な生活課題の解決に、余り役立たないようなキレイごと、タテマエごとの学習ゴッコを続けるということ、貴重な予算を無駄弾にするということであり、きびしい生活に明け暮れる住民の参加は得られず、暇？な住民のみが参加する学習活動となってしまうのではないだろうか。

住民が毎日の生活をよりよくするために、どこに課題があるのか、何が課題なのかを、みんなでホッペを出し合っておおらかに話し合い、その生活課題を解決するためにどうしたらいいのかを学び合う学習活動こそ大切であり、それとあわせて自分たちの住む地域をよりよくするために、みんなで知恵と力を出し合う住民主体のコミュニティづくりを促進するというのが、住民たちが公民館に求め、期待をしている点なのではないだろうか。

行政改革、財政再建が叫ばれるきびしい情勢の中で、「事業予

(柏崎市中央公民館 元事務長・徳間助夫)



進と公民館 (7) 育成・学習啓発

「生涯学習シリーズ」の最後は、「学習グループの育成」と「学習啓発」の実践事例を紹介して本シリーズの締めくくりにする。

学習グループの育成

わざわざ「生涯学習推進のための学習グループの育成」と言わなくとも、どこの公民館でも本来の仕事として取り組んでいることであるから、取り立てて事例紹介をするまでもない。

そこで、本県に多い僻地・過疎地での地域づくり活動を基盤にした「学習グループの育成」に取り組んでいる浦川原村の事例を取り上げる。

「楽しい婦人余暇講座」 出前方式による 学習グループの育成

浦川原村の地域婦人会は崩壊して久しい。この婦人会の再生は望めないにしても、新しい婦人グループの育成が公民館の重要な課題となっている。

いうまでもなく、地域の連帯意識の醸成や、地域の教育力の向上などの点から、女性パワーは不可欠な点からである。しかし、近年の共働き家庭の増加から、工場などへの通勤する婦人も増して、①仕事に追われ、家庭での親としての努力を十分に果たせないでいる。②経

地域社会への奉仕の念が薄れがちである。③自主的な活動集団が少ないため集団活動ができず、連帯意識に欠ける面が見られる。などの諸要因によって婦人のグループ化は難しい状況にあった。加えて山村のため、集落が散在しており、中央公民館に「集める学習」のみでは必ずしも十分に対応できないでいた。

そこで工夫したのが「出前方式」による学習グループの育成である。つまり、点在する地域ごとに学習グループづくりを進めることをねらって、公民館が各部落に出向いて学習活動を進めるものである(学習プログラムは表1参照)。

また、開設して一年しか経っていないので顕著な成果とは言えないが、昨年度に比べて今年度は、余暇講座の運営を自主的に運営できるように努め、徐々にではあるが自主的なグループとしての取り組みが見えるようになってきているという。

「地域づくり活動」 新しい試みの家庭教育学級

辺地への浸透を狙った第二の浦川原村公民館の事業は、コミュニティ(四小学校の各区)ごとに、従来の家庭教育学級を变身させて、地域ぐるみ社会参加による地域づくり活動と取り組んでいることである。

家庭教育学級という場合、従

来は家庭における「子どもと親」の問題の学習内容が多い。したがって、学級運営はややもすると親たちの主体性を欠き、保育所や学校に依存する性格が強かった。この体質から脱皮して、地域ぐるみの、つまり、高齢者から幼児に至るまでのそれぞれ

の世代に応じて全員が学習(地域づくり活動)に参加するように、それも、自主的な学習計画が樹立できるようにと、工夫しているものである。子供は子供なりにグループとして地域のために役立つ活動を工夫し、子供たちへの社会参加活動を指導することを中心におきながら、地域のおとなたちが自らもグループとして社会参加への積極性を身につけることを狙ったもので、確かに家庭教育学級とは一と味違った活動となっている。(学習プログラムは表2を参照)

ここには、紙幅の都合で下保倉地域のプログラムだけを例示したが、他の三地域もそれぞれの地域の特性を生かしながら、全体として地域・PTA・学校が一丸となって取り組んでいることには変わりがない。

「生涯学習」という面白い言葉を使わないで、辺地への学習活動を浸透させる上で極めて効果的であるとして、今年度の公民

表1 楽しい婦人余暇講座 浦川原村公民館

ねらい		地域学習会をとおして仲間づくりを進め、地域・家庭における婦人の役割を再認識させる。	
回	月日	学習主題	学習内容
1	6/~8/	パート1 (メニュー選択) 日常生活で役立つこと 毎週1~2 会場回	日常生活ですぐ役立つ実践的なことを学ぶ ・手芸 ・電気の豆知識 ・料理 ・健康体操 ・写真撮影
2	9/~11/	パート2 (メニュー選択) 心にゆとりとuring おいを持たせるには?	楽しく幸せな日常生活を送るための婦人の役割 ・子育てと孫の守護 ・好かれる年寄り ・宗教の理解
3	12/~1/	パート3 (必須) 巡回小劇場	文芸・娯楽の16mm映画の鑑賞をする
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に開催希望をとりメニュー選択する。 ・8会場を実施 依頼先 下栢野 横川 印内 山本 熊沢 法定寺 中猪子田 心谷島 ・年次計画で全集落で実施 		

表2 下保倉地域づくり 浦川原村公民館

実施目標		地域・PTA・学校が一丸となって地域活動を実施する	
回	月日	学習主題	学習内容
1	6/5	地域探訪 クリーンハイキング	生まれ育った地域のよさを見直しながらの空け拾い、道路清掃。
2	6/25	地域花壇づくり	空地、公共施設、公園等に地域の花壇をつくる。
3	7/7	地域納涼大会	盆踊りに地域ぐるみで参加協力する。
4	10/23	地域作品展	学校文化祭に地域ぐるみで参加協力する。
5	11/19	地域収穫祭	学校田収獲祭に地域で参加協力する。
6	2/5	地域雪まつり	学校スキー大会に地域で参加協力する。

生涯学習フェスティバル

11月2日(木)～11月5日(日)



生涯学習は決してむずかしいものではありません。楽しみながら学びたいという気持ち、地域の人たちと心を通わせたいという気持ちを大切にするのが、生涯学習です。

このフェスティバルの心は、当地でおこなわれている学習活動の実践や成果を発表し、多くの人が生涯学習についての理解を深め、また、いろいろな学習活動に役立ててもらおうとすることを目的としています。

主催 川口町、川口町生涯学習推進本部
 主審 川口町教育委員会、川口町公民館

部 門	種 別	内 容	期 日	会 場	備 考
とくにおおむね	生涯学習推進大会	生涯学習推進本部主催の生涯学習フェスティバルに際して、生涯学習推進本部の活動報告、表彰式、表彰状授与、表彰状授与、表彰状授与	11月2日(木)	川口町公民館	
	生涯学習推進大会	生涯学習推進本部主催の生涯学習フェスティバルに際して、生涯学習推進本部の活動報告、表彰式、表彰状授与、表彰状授与	11月2日(木)	川口町公民館	
いんこう展(文化祭)	生涯学習推進大会	生涯学習推進本部主催の生涯学習フェスティバルに際して、生涯学習推進本部の活動報告、表彰式、表彰状授与、表彰状授与	11月2日(木)	川口町公民館	
	生涯学習推進大会	生涯学習推進本部主催の生涯学習フェスティバルに際して、生涯学習推進本部の活動報告、表彰式、表彰状授与、表彰状授与	11月2日(木)	川口町公民館	
シニア展	生涯学習推進大会	生涯学習推進本部主催の生涯学習フェスティバルに際して、生涯学習推進本部の活動報告、表彰式、表彰状授与、表彰状授与	11月2日(木)	川口町公民館	
	生涯学習推進大会	生涯学習推進本部主催の生涯学習フェスティバルに際して、生涯学習推進本部の活動報告、表彰式、表彰状授与、表彰状授与	11月2日(木)	川口町公民館	
青少年連	生涯学習推進大会	生涯学習推進本部主催の生涯学習フェスティバルに際して、生涯学習推進本部の活動報告、表彰式、表彰状授与、表彰状授与	11月2日(木)	川口町公民館	
	生涯学習推進大会	生涯学習推進本部主催の生涯学習フェスティバルに際して、生涯学習推進本部の活動報告、表彰式、表彰状授与、表彰状授与	11月2日(木)	川口町公民館	
市民連	生涯学習推進大会	生涯学習推進本部主催の生涯学習フェスティバルに際して、生涯学習推進本部の活動報告、表彰式、表彰状授与、表彰状授与	11月2日(木)	川口町公民館	
	生涯学習推進大会	生涯学習推進本部主催の生涯学習フェスティバルに際して、生涯学習推進本部の活動報告、表彰式、表彰状授与、表彰状授与	11月2日(木)	川口町公民館	
交通安全	生涯学習推進大会	生涯学習推進本部主催の生涯学習フェスティバルに際して、生涯学習推進本部の活動報告、表彰式、表彰状授与、表彰状授与	11月2日(木)	川口町公民館	
	生涯学習推進大会	生涯学習推進本部主催の生涯学習フェスティバルに際して、生涯学習推進本部の活動報告、表彰式、表彰状授与、表彰状授与	11月2日(木)	川口町公民館	
その他	生涯学習推進大会	生涯学習推進本部主催の生涯学習フェスティバルに際して、生涯学習推進本部の活動報告、表彰式、表彰状授与、表彰状授与	11月2日(木)	川口町公民館	
	生涯学習推進大会	生涯学習推進本部主催の生涯学習フェスティバルに際して、生涯学習推進本部の活動報告、表彰式、表彰状授与、表彰状授与	11月2日(木)	川口町公民館	

シリーズ 生涯学習の推

実践事例 学習サークルの

啓発活動

生涯学習の啓発活動は、「自ら」の意志で「自ら」選択して「学習」することを立て前にするものだけに、学ばざるをいかに誘発するかということがポイントになる。イベント一つを取り上げてみても、行政広報的な形式で「生

館の目玉事業にして充実させていくつもりだと荒木政幸係長が力説していた。

ちなみに、四小学校区の地域づくり活動の事業名は次のとおりである。

- 「下保倉いちようが丘活動」
- 「末広クリーン地域活動」
- 「月影シルバー活動」
- 「中保倉フラワー活動」

涯学習」を前面に押し出して、講演会などを単発的に実施しても住民の足を会場に向けさせることは難しいという。

そこで、まず住民の関心をこちらに向けさせ、住民の好む意識や感覚に訴えて、学習意欲を誘発させなければならないことになるので、いきおい、用語もくだけたものにしたり、時には若者感覚も取り入れるなど工夫をする必要があるという。また

当然のことながら、生涯学習啓発のイベントだけを単発で実施するよりは、いくつかの関連イベントを重ねた複合的な事業の方が効果があるという。

また、市町村の中央部に住民を集めて啓発活動を実施する事業とあいまって、辺地など

市町村管内の隅々まで「生涯学習推進委員」の力を借りるなどして浸透を図ることもまた、生涯学習推進体制の整備としておろそかにできないことである。

この二点について、その実践事例を紹介することにしてよう。

川口町の場合

表1に見られるように、十一月二日から五日まで四日間にわたる「お祭り」として実施している。その四



新井市の場合

新井市では周辺町村(頸南五町村)と共催で十月六日から十日までの五日間にわたり「古里いろいろフェアー」と銘うったイベントを実施した。

青年会議所では、物産展やミニSIL等を、郵便局は切手展を、といった数多くのイベントの一つとして教育委員会の主管の事業として「トークinあらい」を実施している。

この「トークinあらい」のイベントで見逃すことのできないのは、共催団体に「新井市地域づくり連絡協議会」が参加していることである。この団体は、全市三十八町内が自主的に地域づくり活動を進める団体で、その連合体が連絡協議会であるから、市内の隅々にまで、啓発活動が行き届くことになる。このような組織の力によることも効果的な方法であろう。(完)

以上七回にわたるシリーズをひとまず終る。まだ地域おこしに関する活動、例えば川口町木沢地区の「陶芸教室」などが残っているが、機会を改めて紹介することにする。

取材に当り、資料提供など快く協力してくださった、七公民館の関係者に深甚の謝意を表して掲筆する。(編集子)

加 茂 市 公 民 館

実践記録シリーズ

(37)

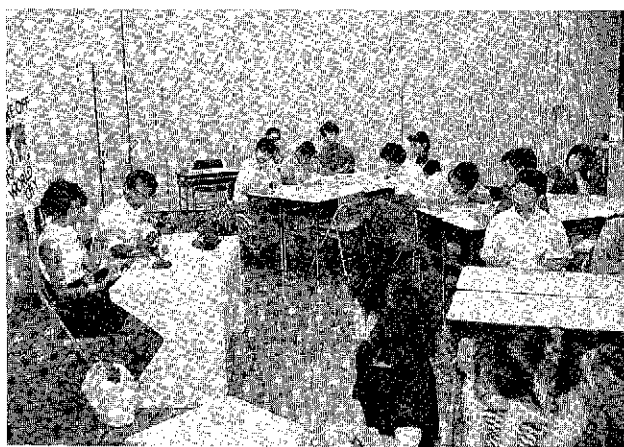
青年ふれあいセミナー

テーマは「旅」海外篇

青年達の触れ合いの場を拡げるセミナーが今年も開催された。名付けて「ホッとらいん」——ホッと一息ついてみよう、というネーミング。集るは花の二十

代の男女五十余人。テーマは青年達に関心が高い「旅」、それも今回は「海外旅行編」。演ずるは旅に関わる立場の女性達。

加茂文化会館のサークル室を会場に、月二回開催のペースで六



回シリーズ。ステキなゲストに目を輝かせ、海外の旅に思いを走せる青年達の夜の二時間。シリーズ途中の「ちょっと一息パーティー」も、終了後の「ごくろうさんパーティー」も大盛況のうち、全日程を完了した。

昨年生まれ、今年もぜひにとの声大いなか、旅シリーズ第二弾として企画されたこのセミナー、さてその成功のポイントは……何よりも、運営スタッフ(八名程)が企画準備そのものをウ

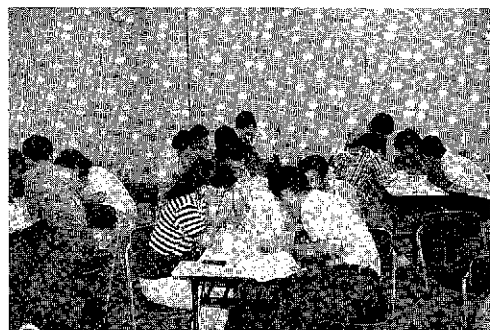
と楽しんでしまうこと。場所も会議室に止まらず、興に乗りつつ移動した喫茶店での冗談話も満載しての運営会議。ゲストの選定・折衝は当って砕けるで、いろいろなツテからメンバーが直接アタック。このコンタクトの過程も、悩んだりあせったり緊張したり。それ故にOKがとれた時の嬉しさがスタッフを更にやる気にさせる。

そしてゲストとの打ち合わせ。一流ホテルのティールームなどでリッチな気分で行うことを常とし、スタッフの特権とばかりに大いにこのムードを満喫。

迎えるゲストは極力、受講生達と同世代の若い女性としていれることもセミナーのムードをフレッシュにしているゆえん。

また、実際の講座に臨む際、会場のテーブルの配置をそのつど変え、花をあしらひ、その時のテーマに合わせたパネルを掲げたりと、細部に渡る演出にも気を配る。

それから、スタッフには進行役、ゲスト紹介等々、毎回いろいろな役割を担ってもらい、さまざまな立場を体感する場にもしている。



更に、セミナー二時間の枠をゲストとの打ち合わせでいくつかのパートに分け、飽きられぬ展開のしかたを考え出す。そのひとつのパートには、「ホッとらいん」の講座の名の通り、「ホッと」「コーヒ」も配り、ゲームで参加者の交流も図るコーヒータウンを組み入れることも忘れていない。

スタッフのバイタリティーとアイディアでシリーズ第二弾も終え、ファンも増えたこのセミナー。すでに「来年は……?!」との参加者からの声も耳にする。

関心ある青年達にはぜひ企画

運営の楽しみを体験してもらいたく、第三弾の秘策を練りつつある昨今ではある(……鬼が笑ってらあ)。

参考までに、今年のプログラムの紹介を――

[1]7/17 「ジュンビ、ジュンビ」

川村まゆみさん(旅行社勤務)

海外旅行へ飛び立つまでの準備について様々なアドバイス。

[2]8/8 「メルヘン、ヨーロッパ」

内海和子さん(中学校教諭)

パリ日本人学校勤務での三年間の体験ヨーロッパ紀行。

[3]2/23 「ハロー、アメリカ」

一橋美喜子(学生) カナダでのホームステイ語学研修で米国大学入学を目指す十九才の体験談。

[4]9/7 「グルメ、グルメ」

熊谷裕子さん(接遇インストラクター)元スチュワードによる飛行機での思いっきり

の楽しみ方の伝授。

[5]9/22 「バラエティー、アジア」

須永典子さん(主婦)台湾での四年半の生活で得た生の情報をおこれ満載。

[6]10/7 「ショッピング、ショッピング」

入江真澄さん(国際線スチュワード)訪された世界各国の様々なエピソードに添えて、お買い得のおみやげ紹介。

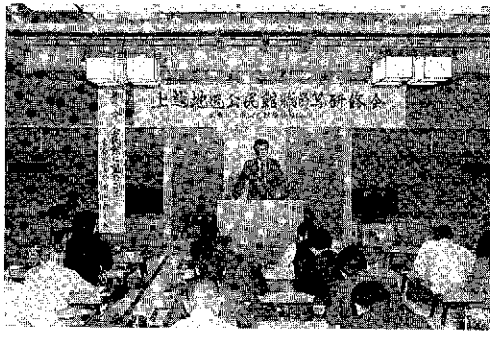
(青年セミナー 斉藤 正記)

地についた実践発表 上越地区公民館職員等研修会

去る十一月八・九日にわたり上越地区公連主催の公民館職員等研修会が、妙高高原町の平の妙高山荘で開催された。

昨年は県大会と共催の糸魚川大会であったことから、二年ぶりの単独研修会だったこともあって、公民館長・主事等関係者四十一名が参加し、終始熱心な研究討議が進められた。

第一日は十三時三〇分、開会式に続いて、十七時まで五人の実践発表のあと、各自が持ちよった問題点により熱心な討議が展開された。ちなみに実践発



表者は次のとおり。

「新井市における地域づくり活動について」 新井市公民館係 長 田地野 貢氏

「蒲川原村の紹介」 蒲川原村公民館長補佐 荒木 政幸氏

「能生町の紹介」 能生町社会教育課長補佐 丸山 巖氏

生涯学習振興大会開催

村上市岩船郡公民館連絡協議会主催

去る十一月二十一日、朝日村公民館を会場に、村上市岩船郡公連他主催による「村上市岩船郡生涯学習振興大会」が開かれた。

これは、生涯学習、生涯教育という時代の要請に応えたもので、教育委員、社会教育委員、学校教育関係者にも呼びかけた結果、百四十名の参加による大研修会となった。

午前は、「生涯学習をすすめるための具体的方策はどうあるべきか」というテーマで、パネラーには、山北町生涯学習推進会議委員滝谷節子氏、村上

「公民館活動の反省」 柿崎町中 央公民館長 相沢 観司氏
「転入奥様スクールを開設して」 上越市立公民館主任 小林 正夫氏

第二日は、午前九時から、「今、公民館に望むこと」と題して、上越教育大学教授前田幹氏の記念講演を聴講して全日程を終了し解散した。

(資料提供 上越市立公民館 係長 山川 剛)

市社会教育指導員(生涯学習モデル事業担当) 瑜伽徹生氏、生涯学習先進地水原町公民館長高野秀夫氏、学校教育の立場から三面小学校長小栗浩氏の四人が登壇。実践発表の後、実に充実した意見交換が繰り広げられた。午後は、朝日立ハイソフト取締役水野昌美氏から「国際化社会と教育」の演題で国際化時代に生きる人材、国際人の育成はどうすればよいか、を主内容とする講演が行なわれた。会場は終日熱気に包まれたまま終了した。

〔村上市中央公民館 主事 大滝慈光記〕

新潟市東地区公民館囑託

滝沢智子さん(28歳)

公民館五年のキャリア。週三日は分館の仕事を担当する。

文化祭実行委員会を作り上げ家庭教育研修会を定着させた。

グループの相談にのりながら年間十三の事業を開設し、本館の仕事もこなす。オーパ・ワークかなと心配だが、スリムな体のどこにスタミナがと驚くくらい頑張る。仕事だけではただの人。趣味を越して、ライフワークと



「母が家で教えているので、仕方なく手伝っています」身の回りのグッズには今の臭い。お酒もカクテルできまり？大和撫子の世界からトレンディなギャルまで、アーバン・ライフを楽しむ滝沢さん。今を意識した企画は滝沢さんのセンス。大いに頼りになる。彼女を語るにカタカナ語が多くなってしまう。分かりにくい部分は、ご容赦のほどを。

(新潟市東地区公民館 社会教育主事 小川 昇記)

素顔拝見

黒埼町社会教育指導員

吉岡純子さん(43歳)

専業主婦から、社会教育指導員になって二年目という吉岡さんは、仕事が面白くてたまらないという表情でインタビューに応じてくれた。

「担当している仕事は？」

「婦人講座です。『生き生きレディス』というネーミングの」

「なるほど、それで生き生きしているのですか？ 苦労している点はどこなところですか？」

「企画立案の部分ですね。今年、何をテーマに？ という段階です。一人でも多くの婦人



の意見を聞くために、受講者や団体・スポーツ利用者などに問いかけます。近隣の町村の様子も聞いたり……。開設が決まれば、あとは私自身も受講者の一人になった気持ちで……」

「テレホンサービスの仕事は？」

「こんな話し方で、果たして聞いてくれるだろうか？ 不快感を与えてはいはいないか？？」

「いつも気を使うことばかりです」と工夫のほどを話してくれた。

(上村記)

